



# 鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校  
鴻巣市大間1161番地  
令和3年3月1日

第11号

## 「校長先生、報告があります。」

～鴻巣高校生を見て育つ西中生～  
校 長 服部幸司

先日、月曜日の朝、本校野球部顧問が校長室の戸をたたき、「校長先生、報告があります。」、私が身構えると、笑顔で「悪い報告ではありません。いい報告です。」と顧問。聞くと、昨日の野球部の練習で集合時間の直前になってもT君がいないことに気付き、双子のA君に聞くと、「Tはゴミを拾いに行きました。」とのこと。顧問は場所を確認し、すぐに現場に向かったが、T君はすでにゴミ拾い(野球部の練習のため登校する途中で、ゴミ集積所にカラスが散らかしたゴミがあった。本人は気になり、一度登校するが、再び自転車で現場に戻った。)を終え、学校に向かう途中、



顧問…「ゴミを片付けに行っていたんだって、えらいね。」

T君…「この間、道德の授業でやったので」と一言



その授業は、教材名「散乱の古紙 一人で回収～鴻巣高校の湯本さんに感謝状～」というもので、鴻巣高校を既に卒業している湯本さんに、昨年度実際に取材して構成した鴻巣西中独自の教材を扱った授業でした。T君は、その道德の授業を思い出して、行動したわけです。

今年度6月にも土手を散歩していた3年生女子2名が1万円札11枚を拾い、ティッシュで包んで学校に持ってきて、本校職員が警察に届けるということがありました。また、昨年冬にも、陸上部2年生男子数名が下校途中、高齢者女性のものと思われる財布を拾い、寒い中、学校に戻り、届けたことがありました。いずれも、「落とした方はきっと困っているに違いない。」と想像しての行動でした。お金も財布も、本人のところに戻り、安心したのですが、その時の「温かくなる気持ち」、「誇らしい気持ち」は今でも忘れません。

今日も本校近辺の通学路には、空き缶や投げ捨てタバコなどのゴミは一切ありません。鴻巣高校のバスケットボール部と思われる生徒たちが毎朝、右手にトンブ、左手にゴミ袋を持ってゴミを拾っているからです。先日は先生と思われる方も一生懸命拾われていて、師弟同行の姿に頭が下がりました。夕刻は野球部の気合の入った声と打球音が校長室まで響き、若者の公德心とエネルギーに頼もしさを感じるのです。



pixta.jp - 36028689